

えがお大東っ子 第80号

第43回大東市立小学校連合音楽会 －大東市小学校教育研究会主催－

令和7年11月26日(水)、大東市立小学校による音楽の祭典である「第43回 大東市立小学校連合音楽会」がサーティホールにて開催されました。

各校の代表として出場した4年生から6年生までの子どもたちは、大きな舞台に緊張しながらもとても真剣な眼差しで、友だちと心をひとつに美しい合唱や完成度の高い合奏を披露しました。

合唱では、曲調にあわせて強弱をつけたり、歌詞を届けるために口を大きくあけて歌ったり、パフォーマンスを取り入れて曲の魅力を伝えたりと工夫をし、ホールいっぱいに美しく調和のとれたハーモニーを響かせました。合奏では、各校、果敢に難しい課題に挑戦をしました。奏でたい音楽のイメージを共有し、細かいところまでこだわって練習を積み重ねてきたことがよくわかる一体感のある演奏でした。



この音楽会を通じて、子どもたちは仲間と協力する大切さや、表現する楽しさを学びました。今年も鑑賞者にたくさんの感動を与えた素敵な音楽会でした。

お問い合わせ先：大東市教育委員会事務局 指導・人権教育課 TEL072-870-9104

情報活用能力をはぐくむモデル校 公開授業研究会



今年度、大東市立氷野小学校・大東市立南郷中学校は、大阪府教育庁「スクール・エンパワーメント推進事業」情報活用能力をはぐくむモデル校の指定を受け、府域共通の課題に取り組み、その成果を府域全体に普及・発信するモデル校としての取組みを進めています。

令和7年10月10日（金）に大東市立南郷中学校にて開催された公開授業研究会では、市内・市外あわせて約140名の先生方にご参加いただきました。

公開授業では、「課題の設定」「収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り・改善」の授業スキルマグネットシートを黒板に掲示し、教職員だけでなく、生徒も意識できるように工夫されました。また、1人1台端末だけでなく、図書資料やパンフレット等も活用しながら情報を収集したり、授業支援ツール等を活用して整理・分析したりと、子どもたちの情報活用能力の育成を意識した授業展開となっていました。



令和7年11月7日（金）には、大東市立氷野小学校で公開授業研究会を開催しました。

どの学級でも、探究的な学習を生み出す4つのステップ（「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」）を意識した授業展開となっていました。前時までに情報収集した内容を全体で共有したり、これまで学習してきたことを生かして課題を解決したり、友だちの意見を参考にしながら自身の考えを深めたりと、1人1台端末やさまざまな情報手段を活用して学習を進めていました。



氷野小学校・南郷中学校の取組み、大東市のICT教育の取組みは、各校ホームページまたは、大東市ホームページからご覧いただけます。

【氷野小 HP】



【南郷中 HP】



【大東市 HP】



言語能力をはぐくむモデル校

大東市立三箇小学校・谷川中学校 学校公開報告

大阪府からの指定を受け、学校全体で「言語能力をはぐくむことで、学力を向上させよう」という目標をもって取り組んでいます。1人1台配られているタブレット端末からだけでなく、学校図書館等を有効活用し、書籍からも情報を集め、必要なものを取捨選択することで、学びを深めていこうと、学校全体で力を入れています。2学期には大阪府域全体へ学校公開を行いました。その取組み内容を少しだけご紹介します。本とともに子どもたちは成長中です！



～ 廊下にも本がたくさん ～

子どもたちが興味のあることや、いま学習している内容に関連する本を学校司書と先生が協力し、準備されています。ふとした時にも本から学べます。

～ 自分の言葉で表現 ～

調べたこと・分かったことは、自分の言葉で仲間に伝えます。発表したり、作品作りをしたりして、表現する力を鍛えています。



～ 热戦のビブリオバトル ～
お気に入りの一冊の本を自分の言葉で語り、参加者全員で「読みたくなった本」を決める書評合戦です。本の魅力だけでなく発表者の熱意や意外な一面に触れ、新たな発見があることが醍醐味です。

～ 整っている学校図書館 ～

整頓された学校図書館は、読書の場だけでなく、学びの場としても積極的に活用されています。確かな情報が載っている本の良さに触れ、学びが深まっています。



※著作権等保護の観点から画像に加工を施しております。

大東市が推進している

小中一貫教育について

「小中一貫教育」とは

義務教育期間を、小学校6年間と中学校3年間の別々で考えるのではなく、9年間を一体の教育課程としてとらえ、系統的な教育を行うことをいいます。

「小中一貫教育」のねらい（メリット）

- ・小学校と中学校の教職員が、9年間を通して育むべき子どもの姿（めざす子ども像）を共有して指導する。
- ・9年間を見通して計画的な学習指導や生活指導・生徒指導を行う。
- ・持ち物や授業の流れ、生活習慣に関するルールを小中学校間で統一し、共通した規律を徹底することで、小学校から中学校に進学した際の学校生活のギャップが緩和される。

など

大東市の小中学校では、平成29年度より一部の学校において小中一貫教育をモデル校として実施し、その実践を市内に拡大していきました。そして令和4年度からは市内8中学校区で小中一貫教育が行われています。すべての中学校区において『9年間でめざす子ども像』が設定され、取組みや指導がされています。

市内の中学校区における「9年間でめざす子ども像」の一例

- ・自分の未来を考え、実現に向けて行動できる子ども
- ・自らの将来の姿を描き、意欲をもって学び続ける子ども

9年間で系統的な指導を行うために、小学校と中学校の教職員が合同の研修会を開いたり、相互に授業参観を行ったりするなどの取組みがされています。

また、小学生が中学校に通学して授業を受ける「アクセスプラン」を定期的に実施したり、小学生と中学生が合同でいさつ運動をしたり遠足に行ったりするなど、それぞれの校区でさまざまな取組みがされています。

【今年度のアクセスプランのようす】





大東市初の

義務教育学校

開校に向けて準備を進めています



義務教育学校って何？

平成28年に制度化された、小学校6年間と中学校3年間の義務教育9年間を一貫して行う、新しい形態の学校のことをいいます。小学校と中学校の区別がなく、9年間を通じた学年の編成と系統的な教育課程が組されます。子どもたちの発達段階に合わせた柔軟なカリキュラムを編成し、学力向上や9学年の円滑な連携を図ることが期待されます。令和7年度時点で大阪府内に13校、全国におよそ260校の義務教育学校があります。5年前と比べその数は倍増し、今後も増加傾向にあります。

現在、令和12年度に北条小学校と北条中学校が一つになり、新しい義務教育学校として、現在の北条中学校の場所に開校するために準備をすすめています。

北条小学校と北条中学校では平成29年度より小中一貫教育を実践し、9年間のカリキュラムが編成されたり、アクセスプランなど小中学校での取り組みも活発に行われたりしています。義務教育学校となることで、さらに9年間の一貫した教育が推進され、小中一貫教育における市内のリーディングモデル校として他校にも実践を広げていくことを考えています。



学校名を募集します！

北条中学校区に開校予定の義務教育学校はこれまで『(仮称)大東市立ほうじょう学園』としてきましたが、このたび正式名を決定するため学校名を募集しています。

教育企画室ホームページにて応募資格や選定のポイントを掲載していますので、ご確認いただき、ぜひご応募ください。

【応募方法】下の1・2のいずれかでご応募ください。(2月27日(金)締切)

1. 電子申請 右の二次元コード または 教育企画室ホームページより応募



2. 紙で応募 応募用紙・応募箱設置場所

○北条人権文化センター 受付

○いいもりぶらざ 受付

○教育企画室 窓口(市民会館5階)

電子申請
応募フォーム



教育企画室 HP



(仮称)大東市立ほうじょう
学園の設置に関する基本構想



学校名募集 案内

教育委員会 からのお知らせ



大東市HP以外でも大東市の教育や
子育て支援の情報などを発信しています!

☆大東学び合いネット

市内小・中学校20校が作成しているホームページをまとめています。教育長からのお知らせも発信しています。



☆大東市の教育施策動画

(大東市教育委員会[公式]ちゃんねる)
大東市小・中学校で取り組んでいる教育の
内容について紹介しています。



☆子育て世代向け Instagram

大東市の子育て支援や教育の情報
について発信しています。

